

第3回流山市補助金等審議会会議録

- 1 開催日時 令和2年12月1日(火) 午後2時から
- 2 場 所 流山市役所第1庁舎3階 庁議室
- 3 出席委員 山田会長、神田副会長、高橋委員、中村委員、山本委員、石井委員、笠間委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席職員 小野環境部次長兼クリーンセンター所長、石田副所長
- 6 事務局 村山財政調整課長、福吉課長補佐、加茂副主査、吉野主事、加藤会計年度任用職員
- 7 傍聴者 なし
- 8 議 題
 - (1) ヒアリング結果について
 - (2) その他

開 議 14時00分

(山田会長)

只今から、第3回流山市補助金等審議会を開催いたします。
本日の会議は、全員出席ですので、会議は成立していることをご報告します。
また、本審議会は、公開としておりますので、あらかじめご了解願います。
本日は、「ヒアリング結果について」を議題として、進めてまいります。
はじめに、事務局から本日のスケジュール等について説明をお願いします。

(事務局)

本日、財政部長は議会開会中で議会対応のため欠席となりますのでご報告いたします。

本日のスケジュールについてですが、審議の前に、前回の審議会の中で、多くのご意見のあった、再生資源物回収事業奨励金について、再度、増額の必要性等について担当課に説明をしていただき、これを対象にヒアリングを行います。

その後、全体のヒアリング結果を審議していただき、補助金ごとに評価をまとめていただきたいと思います。

本日の配付資料は、11月25日時点での、各委員のヒアリングの審査表を事務局でまとめたA3縦3枚のもの、それと、再生資源物回収事業奨励金の関係資料で回収業者ごとの回収量や経費をまとめたA3縦1枚のもの2点が配付資料になります。

以上です。

(山田会長)

それでは、はじめに「再生資源物回収事業奨励金」について、担当課から再度、説明をしていただきます。

担当課を呼んでください。

【クリーンセンター 入室】

(山田会長)

本日は、お忙しい中、ありがとうございます。

それでは、「再生資源物回収事業奨励金」について、再度説明をお願いいたします。

(石田副所長)

市内リサイクル団体から回収事業者が回収する資源物（古紙・古布・ビン・缶）の令和元年度実績（月平均）について、回収事業者7社ごとの回収量、収入及びkg当たりの単価（売上額・奨励金額）、経費及びkg当たりの単価（直接経費・管理費）、収入から経費を差し引いた収入不足額をkg当たりの単価で積算した資料を基に説明する。

この結果、7社合計のkg当たりの単価で10.2円の収入不足となっており、今後も集団回収の体制を維持していくためには、回収事業者に対する奨励金の増額（kg当たり10円）が必要であるとの積算根拠となります。

(山田会長)

それでは、各委員から質問等あれば、お願いします。

(笠間委員)

資料にある経費は、この集団回収に直接関係するものだけですか。

また、このような赤字の状態は2019年以前から続いているのですか。

(石田副所長)

集団回収に関する経費だけです。

リサイクル事業協同組合から経営を圧迫しているとの相談があったのは2019年12月に口頭であったのが最初です。

(笠間委員)

ということは、2019年以前はそのような状況ではなかったということですね。

この1年間で急激に状況が悪化したということですか。

(小野クリーンセンター所長)

古紙などの買取価格が下がるというよりも、買取市場で品物が動かず買値が付かない状況が2019年当たりから起こっております。

2018年以前は、マイナスでもなんとかやっていた状態だったと認識しております。

(笠間委員)

2年、3年先に買取市場が回復した時には、奨励金はどのように見直していく考えですか。

(小野クリーンセンター所長)

買取価格がプラスに振れば、その分奨励金は下げていく考えです。

このことは、リサイクル事業協同組合も承知しておりますし規則の中にも謳っております。

(山本委員)

増額に対する審議なので、昨年と比べてどのくらい単価が下がったのか知りたかったのですが、そのような比較がないので分かりにくいと思います。

(石井委員)

資料によると回収業者7社、50人で対応しているとありますが、単純に考えると1社当たりの回収量が増えれば奨励金も増えます。

例えば、5社、40人で対応すればコストも下がるとは思いますが、無理がありますか。

(石田副所長)

ごみ集積所の大半がリサイクルステーションを兼ねており、市内で5,000か所以上あります。

回収業者の人数を減らすことにより回収の時間がかかってしまうし、そうすると各自治会などの当番の方がその分長い時間拘束されるというデメリットがありますので市民サービスの低下になると思います。

(石井委員)

現在は7社でやっていますが、7社、8社と増えた場合にはその都度増やしていく考えですか。

(石田副所長)

許可業者については、現在の資源ごみの回収量が賄える業者数と考えており、それを超える業者が出た場合には許可を出さないということになります。

これは、何処の市町村においても同じ考えです。

(山田会長)

売り払う先によって単価が違うとの説明がありましたが、高く買ってくれる業者に行政が誘導していくことはできませんか。

(石田副所長)

買取価格に違いがあるのは、業者が持ち込む資源ごみの量によって多ければ高く買

いますし、中間処理施設を持っている業者はある程度高く買うことができますが、この施設を持っている業者は一部で受入れ容量もあると思います。

今後、そのようなことについても検討したいと思います。

(山田会長)

新型コロナの影響では、どの企業も同じように大変だと思いますが、回収事業者の現状を維持するために人件費を上乗せしなければならないなどということはないですか。

(小野クリーンセンター所長)

人件費の部分で特別何かをすることはありません。あくまで回収経費の不足分を奨励金で増額するものです。

(山田会長)

増額要望で約1億円ありますが、仮に全額認められなかった場合、対応はできますか。

(石田副所長)

市民側に、資源ごみを出す量を減らしてもらうしかないと思います。

ただし、そうした場合には回収に出せなかった資源ごみが市の処理（焼却など）に回ってくることになり新たな経費が発生します。

(山本委員)

3者（買い取り業者・回収業者・市）それぞれが努力をしてこの事業を実施していくべきと思います。不足する経費は全て市の奨励金により補填するという考えでは、それぞれの努力や工夫がなくなってしまうのではないかと感じました。

(小野クリーンセンター所長)

市としても、このような状況が続くのであれば違う方法を検討して資源回収に回らなければならないという危機感があります。

(神田副会長)

近隣市の状況についても調べていますか。

(石田副所長)

野田市については1億7千万円で業者に委託して実施しており、回収した資源ごみを売り払った収入がありますので、差し引いた分が市の持ち出しとなります。

また、横浜市は報償費で支払っており2倍近くの費用が掛かっているとのことでした。

(山田会長)

他に何かございますか。

なければ、以上でクリーンセンターのヒアリングを終了します。

ありがとうございました。

【クリーンセンター 退室】

(山田会長)

それでは、次にヒアリングの結果について審議したいと思います。

事務局からの資料では、各委員の皆様の評価結果が一覧になっておりますが、審議会としての評価を一件ずつ決めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

はじめに、「自治会館建設事業補助金」につきましては、各委員の総合評価としてAが6名、Bが1名でしたので審議会としての評価はAとしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

また、コメント欄には各委員から色々と意見が記載されており、多くの意見は必要性が高いとのものですがいかがですか。

【異議なしとの声あり】

(山田会長)

異議なしとのことですので、総合評価はAとしたいと思います。

コメントにつきましては、答申案の中で整理したいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、「福祉タクシー利用補助金」については、A評価が5名、B評価が2名でしたので、審議会としての評価はAとしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

(石井委員)

結論的には総合評価はAでよろしいかと思っておりますが、時代に沿った社会参加ができるように定義の見直しが必要だと思えました。

社会参加の範囲をどこまで認めるのか、不正利用の防止や利用枠の拡大などの観点からも利用後の使途のチェックは必要だと思えます。

(山本委員)

この補助金と並行して、自動車燃料給油券の配付もあり2本立てでこの補助が作られており、補助開始から40年を経過している長期補助事業でもありますので、補助事業全体の見直しも必要ではないかと思えました。

(山田会長)

それでは、コメントにつきましては答申案の中で整理し、総合評価はAとしたいと思えます。

次に、クリーンセンターは後にしまして「農林水産業の振興に関する補助金（高生産推進事業費）」についての評価を行います。

各委員の評価は、Aが4名、Bが3名ですが皆さんいかがでしょうか。

(石井委員)

公平性という意味で、この制度の利用対象者への周知がきちんとされているのか見えないし、効果についても、この制度を利用してよかったということが周りの方に認知されているのか疑問に思えます。

この事業は、やった方がいいとは思いますが、同じ対象者が複数回利用し分かっている方だけが利用するのでは公益に反すると思いました。

(山田会長)

予算ありきの考え方で、総事業費が増えたら補助率を下げ調整するという姿勢では流山市の農業はよくなるし行政の努力（本気度）が感じられないと思えます。

(笠間委員)

流山市の農業は難しい環境にあると思えます。商業関係の開発が多く農業的な行政のビジョンが見えてこない。

食だけではなく、緑、環境、生物多様性なども考えた農住混在の中での農業の構築に期待したい。

(神田副会長)

認定農業従事者50名程度を対象とした補助金制度が多くあり税金が使われていることについて、私はこれまで厳しい目で見えてきましたが、千葉県内で発生した台風被害により立ち上がれない小規模農家のことなど考えると、本市の農業を守るためにも必要な補助金だと感じました。

(山本委員)

担当課の説明では農業の理念についての話が多く、実際の積算根拠についての説明が分かりにくい点や、市民全体に与える効果や意義についての説明も欲しいと思えました。

(山田会長)

いろいろと意見を伺いましたが、激励の意味も込めて総合評価はAとし、流山市の農業に対する方向性や市民に対する説明責任などについて、答申案のコメントに記載させていただき整理したいと思えます。

次に、「企業等立地促進奨励金」についてはA評価が5名、B評価が2名となっておりますが何か意見はございますか。

(石井委員)

ヒアリングの中で感じたことは、公平性はガラス張りになっているかや企業選択の際の優先性は何か、誘致業種の間口が広すぎないかなど、市としての方向性が市のブランドイメージを左右すると思うので、激励の意味も込めて行政としては誘致に向けて来るものを待つのではなく発信していくスタイルで頑張ってもらいたい。

(山本委員)

新規に交付対象企業が増えることによる増額なので妥当だと思えました。

また、新規企業による市民のパート雇用が1名あったとの説明がありましたが、税収に加えて全体として市民生活にどのような効果があったのか、マクロな視点で整理し、市民に向けての説明責任を果たしていく必要があると感じました。

(山田会長)

この事業では「企業等立地の促進に関する条例」が制定されており、その中で対象となる業種（一般診療のうち産科・小児科など）を決めておりますので誘致業種の間

口という点では担当課の説明が足りなかったと思います。

いろいろと意見がありましたが、増額については新規企業が増えることによるものですので総合評価はAとしたいと思います。

次に、「児童生徒大会派遣事業補助金」についてはA評価7名、全員でありますので総合評価はAとしたいと思います。

コメントとしては、皆さん近隣市と同様に10割補助となるよう力を入れ、児童・生徒の活躍を後押しすべきとの意見でした。

最後に、「再生資源物回収事業奨励金」については、A評価が2名、B評価が2名、C評価が2名、保留が1名となっております。

増額の幅が大きいことや積算根拠の説明が不明確などで評価が分かれておりますが、皆さんの意見をお聞かせください。

(中村委員)

1年前とのデータ比較があれば判断できたと思うのですが、そのような資料が出てこなかったのも、一番聞きたかった増額の根拠のところは聞けず判断に悩んでおります。

もちろん、補助の必要性や公益性については感じております。

(石井委員)

行政からの奨励金で不足分を埋めるやり方では、毎年不足が出たら奨励金を増やして対応するというやり方になってしまわないか不安です。ブレーキをかけるという意味でも市民目線でも約1億円の増額は大きすぎると思います。

(山田会長)

奨励金の予算も抑えつつ、回収業者にも経費節減などの企業努力をしていただくようなことをコメントとして書き込まないといけないと思っています。

(神田副会長)

私は、再検討が必要という意味で厳しい評価を付けました。

(山本委員)

皆さんも、この奨励金の趣旨については必要と判断していると思いますので、増額についてどうなのか判断すべきで、例えば総合評価としては、これまでAであったものをBとしコメントに厳しめの意見を入れていくなどしたらいいかなと思います。

(山田会長)

公共性や必要性などについては皆さん十分ご理解いただいていると思います。

従って、資源物回収事業としてはA評価としコメントの中で増額についての見直しが必要だということを記載していくということではいかがでしょうか。

【異議なしとの声あり】

(山田会長)

ありがとうございました。

以上で評価結果を決定したいと思います。

次回までに私の方で答申案を作らせていただき、その案を基にご審議いただきたい
と思います。

最後に、その他として事務局何かありますか。

(事務局)

次回の開催は、12月8日(火)です。

議題は、答申案についてご議論いただき、次の15日の審議会で最終確認をし、
18日に市長に答申をする日程となっております。

以上です。

(山田会長)

以上で、第3回補助金等審議会を終了します。

ありがとうございました。

閉 議 15時37分

流山市補助金等審議会
会長 山 田 聡